

## はじめに

本市では2002（平成14）年に、概ね20年後の2020（平成32）年を目標年次とする水戸市都市計画マスタープランを策定し都市計画の指針としてまいりました。

策定から十余年を経た現在、我が国では、人口減少社会及び超高齢社会の到来や、深刻さを増す地球環境問題に加え、東日本大震災等の教訓を踏まえた災害対策など、様々な課題が山積しており、本市もこれら社会経済情勢の変化に応じた都市づくりの必要性に迫られております。

こうした状況を踏まえ、2014（平成26）年度を初年度とする「水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー」に基づき、このたび「水戸市都市計画マスタープラン（第2次）」を策定いたしました。

新たな計画では、『持続可能なコンパクトなまち』を将来像とし、都市機能や居住環境の集積と交通体系の確保による持続可能な集約型都市の形成をはじめ、豊かな自然環境を保持し、環境負荷が少ない低炭素・循環型の都市、災害による被害を防止し、災害時でもその機能を継続できる都市、さらには、中心市街地の活性化や交流人口の増加を持続的に生み出す魅力ある都市の形成を進めてまいります。

また、この将来像を目指すにあたり、市が必要な施策を講じるのみならず、民間活力の導入や、行政運営への市民参加の促進とともに、市民活動団体、企業、行政等の適切な役割分担を進めるなど、市民と一体となった協働による都市づくりを推進してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、慎重なご審議を賜りました都市計画審議会の委員の皆様をはじめ、地域懇談会において貴重なご意見やご提言をいただいた各地区の代表者、そして、貴重なご意見をお寄せいただいた多くの市民の皆様にご心からお礼申し上げますとともに、今後の本市の都市づくりに、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月



水戸市長 高橋 靖

